

オホーツクの商工業

— COMMERCE AND INDUSTRY —

管内の工業は428事業所（全道の8.2%）、従業員数は11,610人（全道の6.9%）で、製造品出荷額等は4,226億9,382万円（全道の7.0%）となっています。

業種別構成を見ると、農林水産資源を活用した食品や木材・木製品などの地場産業が主体となっています。

管内の卸・小売業は2,931事業所（全道の6.3%）、従業者数は19,847人（全道の5.1%）であり、一事業所当たり平均6.8人で全道平均8.4人に比較し、小規模事業所が多い状況にあります。

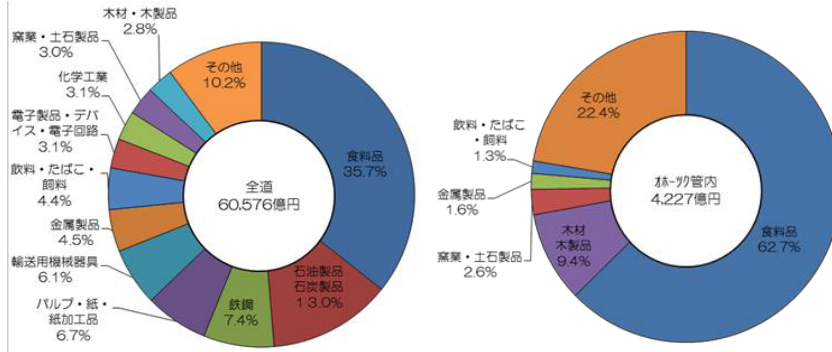
年間販売額は、6,950億円となっていますが、全道シェア3.9%で事業所数の全道シェア6.3%を下回っています。

商工業の活性化のため、地域資源を活用した商品の開発や販路の開拓、道内外へのPRなどを促進し、さらなる付加価値の向上とオホーツク地域の食のブランド確立に向けた取組を行っています。



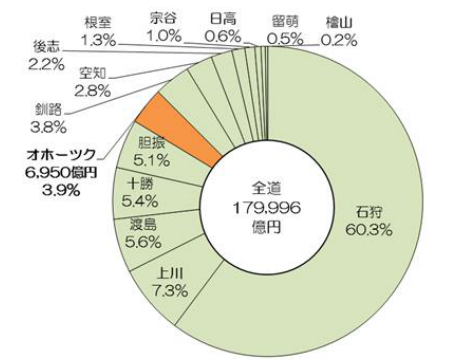
オホーツクフェア2019（札幌）

産業中分類別製造品出荷額等



（平成29年工業統計（従業員4人以上の事業所））

年間商品販売額



（平成28年経済センサス-活動調査）

管内市町村別工業事業所数・従業員数

	総数	
	事業所数	従業員数(人)
北見市	110	2,917
網走市	57	1,552
紋別市	64	1,742
市計	231	6,211
美幌町	27	866
津別町	15	764
斜里町	19	534
清里町	6	186
小清水町	7	127
訓子府町	4	222
置戸町	3	27
佐呂間町	11	580
遠軽町	27	523
湧別町	29	583
滝上町	6	62
興部町	14	300
西興部村	3	56
雄武町	22	430
大空町	4	139
町村計	197	5,399
振興局計	428	11,610
全道	5,189	167,770

（平成29年工業統計（従業員4人以上の事業所））

管内市町村別商業事業所数・従業員数（卸・小売業）

	総数	
	事業所数	従業員数(人)
北見市	1,200	9,658
網走市	362	2,485
紋別市	260	1,670
市計	1,822	13,813
美幌町	207	1,331
津別町	49	265
斜里町	132	801
清里町	38	178
小清水町	59	254
訓子府町	38	289
置戸町	29	153
佐呂間町	64	269
遠軽町	199	1,176
湧別町	86	450
滝上町	39	127
興部町	41	179
西興部村	12	31
雄武町	46	205
大空町	70	326
町村計	1,109	6,034
振興局計	2,931	19,847
全道	46,282	390,952

（平成28年経済センサス-活動調査）

付加価値率

「付加価値率」とは付加価値額を製造品出荷額等で除したもので、この比率が高いほど高付加価値の製品を市場に供給しているといえます。製造業全体におけるオホーツク地域の付加価値率は27.0%で全道の27.4%と比べてほぼ同じ水準にあります。

一方、食品工業に限った場合、全道の28.9%に対し、オホーツク地域は20.4%と低く、豊富な資源を活かした新たな製品開発など、食に関するさらなる高付加価値化が求められています。

製造業全体

	製造品出荷額等(億円)	付加価値額(億円)	付加価値率	1人当たり付加価値額(万円)
オホーツク	4,227	1,141	27.0%	983
全道	60,576	16,593	27.4%	989

食品工業（食料品製造業及び飲料・たばこ・飼料製造業）

	製造品出荷額等(億円)	付加価値額(億円)	付加価値率	1人当たり付加価値額(万円)
オホーツク	2,704	551	20.4%	770
全道	24,265	7,002	28.9%	870

域際収支

「域際収支」とは、地域間の財やサービスなどの取引における収入・支出関係を示すものです。北海道の域際収支をみると、28,304億円の赤字ですが、第一次産業は3,502億円の黒字となっています。一方、オホーツク地域の域際収支は、全体では1,550億円の赤字となっていますが、第一次産業は1,109億円の黒字で、北海道と同じ傾向が見られます。

北海道の域際収支

北海道全体	▲28,304億円
うち第1次産業	▲3,502億円
第2次産業	▲30,257億円
第3次産業	▲1,549億円

オホーツクの域際収支

管内全体	▲1,550億円
うち第1次産業	▲1,109億円
第2次産業	▲1,134億円
第3次産業	▲1,525億円

（北海道開発局「平成23年北海道産業連関表」、
「平成17年北海道内地域間産業連関表」）

オホーツクの観光

—TOURISM—

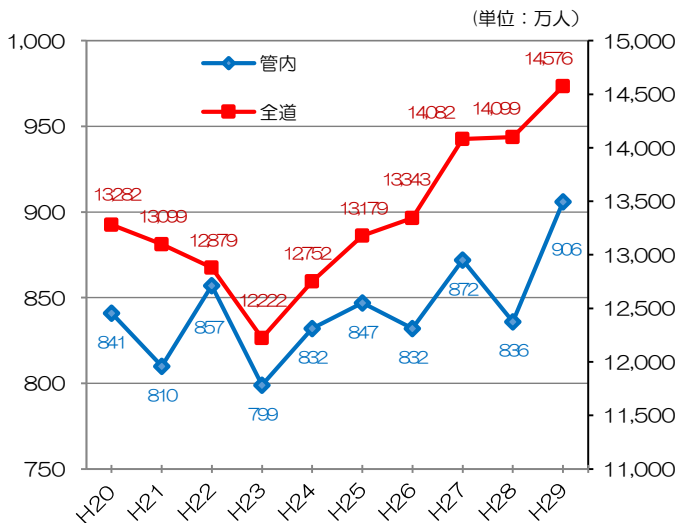
管内は、世界自然遺産知床をはじめとした優れた自然や流水・花・食・温泉など豊富な観光資源を有しています。

管内の観光入込客数は、道外客を主体に回復傾向にあります。

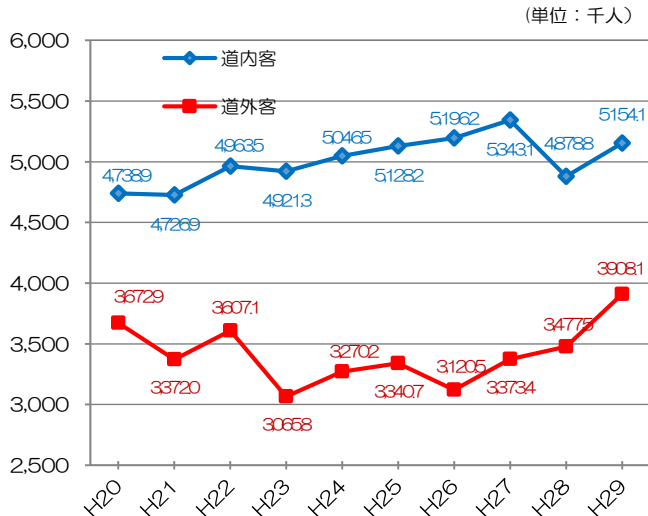
このため、豊かな大自然や、魅力ある食などの地域資源を道内外に効果的に発信するとともに、地域と一体となった広域観光の推進、今後も増加が見込まれる外国人観光客への受入体制づくりなどの取組を進めていきます。



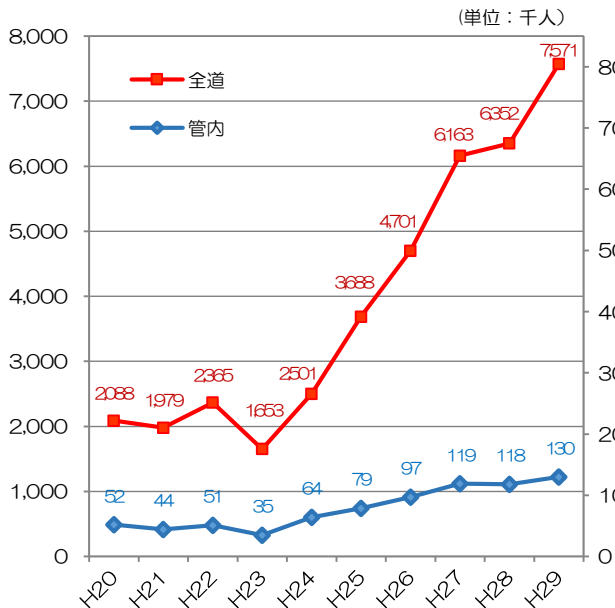
■観光入込客数（管内・全道別）の推移



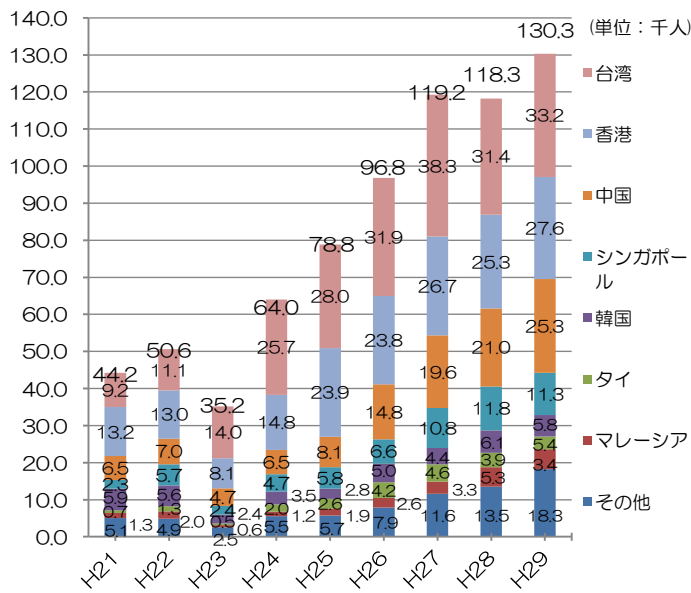
■管内観光入込客数（道内客・道外客別）



■訪日外国人宿泊者延数(管内・全道別)の推移



■管内外国人宿泊者延数（国別）の推移



(北海道観光入込客数調査)